

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育指導課子ども安全支援室長 吉崎 朗 電話番号 0852-22-5444

事務事業の名称	学校安全確保推進事業	
目的	(1) 対象	児童生徒
	(2) 意図	学校（登校、下校を含む）での安全を確保する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全の推進を図ることを目的に各学校の安全担当者を対象に研修を実施し、学校安全の向上に努める。 防災に関する指導方法の向上を図ることを目的に防災研修を実施し、教員の資質向上に努める。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				県内小中学校におけるスポーツ振興センター利用件数	目標値		5,480	5,340	
			実績値	5,624	5,502	5,370	5,589		
			達成率		99.60	99.40	92.60		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値						
			実績値						
			達成率					%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	73,531	74,539
うち一般財源(千円)	8,978	9,074

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- スポーツ振興センター利用件数は年間5,000件超となっており、減少しているとは言えない。
- 子どもの交通事故による死者は発生していない。
- 県内学校における交通安全教室の実施率は高くなっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 県内学校における交通安全教室の実施率
平成25年度：94.1% → 平成26年度：97.7%

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- スポーツ振興センター利用件数が減少していない。
平成25年度：5,370件 → 平成26年度：5,589件

②困っている状況が発生している「原因」

- 小学校では休憩時間でのけがが多く、中学・高校では体育の授業や部活動中のけがが比較的多い。
- 教師の安全に対する意識や防止につながる技能の更なる向上が必要。

③原因を解消するための「課題」

- 学校安全担当者向けの研修について、演習等を取り入れるなどの工夫が必要。
- 児童生徒自身が安全に対する意識を高められるよう、指導を工夫する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 関係機関との連携を深めながら、学校安全責任者への各種研修を通して、学校内外での児童生徒の安全の向上に向けた取組を推進する。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）